



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 6月 9日
つばさだより 第3号

「行事ごとの成長・友達はどう思ったか」

6月に入りました。子供達は4月、5月と新しい学年の時間を過ごしてきましたが、日々の学校生活、遊び、学び、行事を通してどんどん成長していくと感じます。5月24日（土）には「ひじりっ子フェスタ」が開催されました。各学年、クラスで相談、準備期間を経ての本番となりました。グループ指導でもこの行事についての振り返りを行いました。振り返りは教師がファシリテーターとして子供たちの意見を引き出し、グループ内でそれぞれの意見を共有しながら行いますが、この行事に対して前向きな子もいればそうでない子もいました。また、自分とは違う感じ方や意見があることに気が付くこともできました。今年の振り返りでの意見をいくつかを紹介します。

- ・「私は準備の話し合いが苦手だけど、お祭りの雰囲気は好きだから楽しかった。」
- ・「そもそも土曜日の登校がちょっと・・・（納得いってない）月曜日が休みじゃないし～」
- ・「つかれた～」・「クラスの出し物で作ったショートムービーで映画作りって楽しいと思った」
- ・「お休みの人がいたので、代役が大変だった」・「人が多くて疲れた」
- ・「来年の出し物・・・何もしなくていい空間（休憩所）」等々。

「ひじりっ子フェスタ」という行事を通して子供たちはそれぞれにたくさんの学びや心の動きを経験したと思います。そんな体験を言葉で整理し、自分で評価（言葉を補いながら）してみることで、この行事が自分にとってどんな「経験」になったか具体的に感じることができていくように思いました。

授業場面から「合わせる動き・輪つなぎ風船ラリー」

個別・グループ指導の中では「演習」という名前でちょっとしたカードゲームや集団遊びをする場面があります。グループごとの課題に合わせて内容を設定していきますが、今回は「輪つなぎ風船ラリー」という演習です。いわゆる手つなぎ風船ラリーでもありますが、直接的な接触に抵抗がある子もいるので、最初の段階ではゴム製の輪でお互いの手をつないで行いきます。ルールは「同じ人がさわらない」「手しか使わない」「足についてもいい」などグループに応じて難易度を調整します。今回のポイントは「相手に合わせる動き」とはどんな動きかを体験することです。輪でつながっている友達同士が風船を追いかけるわけですが、誰かが強引に引っ張るとうまくいきません。また、無言で行ってもうまくいきません。どうしたら風船ラリーをうまく続けることができるのかのこつをグループの中で振り返りを行いながら探していきます。自分だけではなく、相手がいて成立する「動き」に必要な感覚をみんなで見付けられ、共有できるとそのスキルが次のレベルの学習活動にもつながっていきます。「相手に合わせる」感覚を意識していく「演習」の一場面の紹介でした。